

様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和7年度第1回スポーツ推進審議会
開催日時	令和7年12月3日（水）13時30分～15時15分
開催場所	益田市立市民学習センター 202研修室
出席者	委員：大賀、豊田、村上、柴田、積田、岸、日高 (順不同、敬称略)
議題	(1) 地方スポーツ推進計画に関すること (2) 国民スポーツ・全国障害者スポーツ大会に関すること (3) その他
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	なし
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 地方スポーツ推進計画に関すること</p> <p>○事務局より、具体施策の評価を達成する事業について、令和6年度及び令和7年度上期の進捗について説明し、意見を聴取した。意見等については以下のとおり。</p> <p>会長：施設利用者数だけでスポーツ推進にどれだけの効果があったかというのは計りかねないと思う。卓球では、何年か前から日本大学と交流をしており、そういったことが刺激となって、デフリンピックでの銀メダル獲得などにも繋がっているのではないかと。目に見えないことではあるが、様々な活動が活躍に繋がっているという部分もすごく大事な指標の一つになると思う。卓球や柔道では好成績を上げている選手が出てきており、皆さんが長年やってきたことが少しずつ芽が出ているのではないかと。そういったところも評価の一つとしてあればいいが、基準は難しいと思う。人口が減り利用者が減り、どんどん運動が衰退していくというイメージではなく、こんな活躍をした人がいるといった視点もあればいい。また、集計は3つの運動施設のみだが、公民館や学校施設、民間の施設で運動している人もいる。そういったことも総合的に見ないと、こ</p>

の集計だけでは計れないと思う。

**積田委員：**市内小中学校の施設利用予約状況は、ほぼ満杯状態。そのほとんどはスポーツで、子育て世代、シニア世代も含め利用されている。学校体育館の利用は教育委員会に申請が出ており、そこで回数や人数が括めるのではないかと。レクリエーションでやっている人がほとんどなので、成果に結びつくものではないが、こういった所からも運動に関わる人口が括めるのではないかと。

**会長：**障がい者スポーツにおいても、車いすバスケットボール教室が始まるなど新たな動きも出ている。もっと身体障がい者の方がスポーツする場面が増えてもいい気がするが、益田で目にするのはあまり無い。需要はあるが機会がないのかと感じている。

**豊田委員：**福祉センターでボッチャをやっている。年代や障がいの有無がある中で様々なスポーツに取り組まれている所を、今後は少し掘り下げて考えていく必要があると感じた。

**村上委員：**益田養護学校では、年3回程度ニュースポーツのイベントを行っている。そこには、障がい者や年配の方も参加している。

**積田委員：**毎年依頼があつてニュースポーツを実施しているが、障がい者の方だけで行うのは、回数や人数を揃えるなどが難しい。障がい者の方も参加出来ると声かけをしても、なかなか参加が無く残念に思っている。会場を養護学校で行うなどすれば、参加しやすいかもしれない。

**会長：**バリアフリーなど施設を整え、PRすれば、スポーツをやる人が増えるのではないかと。そういった手法もあると思う。

**日高委員：**西部高等技術校の障がい者の教室の体育を担当しているが、運動公園に来たのが始めていう人が大半だった。障がいがある方が運動公園に来て何かをするというのは、それほどハードルが高い。行きやすい施設が出来るのは良いことだと思う。

**会長：**計画にあつたらいいなという観点で意見をいただいた。スポーツをするのは様々な人がいる、そういった視点も必要だということ。また最初に話が出たが、国際大会で頑張った人がいることを、是非広報などで取り上げてもらい広く知ってもらえたらいいと思う。

**事務局：**現在の評価の所が、市の体育施設の利用者数となっているので、ここの所をもっと多様にした方がいいという意見がありましたので、次回の評価の際に参考にしたいと思う。

**会長：**夜スポーツする人もいる。安全に、明るいところで運動が出来るような場所を整備したり、照明施設の設置をすれば、スポーツ人口は増える。人口が減っていくのに施設ばかり作ってもという意見もあると思う

が、部活動の地域移行もあるので、そういった面の見直し・推進も計画的に考えてもらいたい。

## (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に関すること

○事務局より、2030年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会についての概要を説明。続いて、昨年度行われた中央競技団体視察での指摘を受けた競技施設の改修箇所及び令和8年度以降の年次計画案を説明。意見等については以下のとおり。

**積田委員：**大会に向けてなので、競技をする上で支障が無いようにという視点での整備計画だと思うが、運動公園には多くの方が訪れる。陸上競技場と野球場の間の広場部分の損傷が激しい。外から多くの方が来られるのに、悪い印象を与えることになる。合わせて整備してもらいたい。資料2-3にある中央競技団体視察結果の助言は、何を意味しているのか。

**事務局：**例えば、シャワー設備の設置を求められているが、すべてを仮設で設置するのではなく、既存施設を有効活用することで経費を縮減し、競技施設の改修にお金を回してはどうかという主旨の助言である。全体的にあまり細かい指摘は無かったが、選手ファーストで考えてという助言、要望をもらった。

**会長：**みとサッカー場は、全面を人工芝または天然芝に改修するか、一部を人工芝で改修するかという内容か。

**事務局：**みとサッカー場には2面あるが、1面のみを改修する。それを人工芝にするか、天然芝にするかということである。

**会長：**人工芝の方がいいと思う。ナイター照明もあり、夜も使いやすい。陸上競技場で使う芝生の種類は決まっているのか。

**事務局：**まだ決まっていない。サッカー競技だけを考えると、ティフトン芝がいいが、陸上競技との整理が必要である。

## (3) その他

○事務局より、令和8年度からの改定に向けて作業している益田市教育ビジョンについて、その中のスポーツに関する記載箇所を説明。意見等については以下のとおり。

**会長：**一見すると、子どものことだけが書かれている印象である。

**事務局：**教育ビジョンと聞くと子どものことに重きがおかれている印象と

なるが、生涯スポーツを意識して作成している。

**豊田委員:**「生涯にわたって」という言葉がどこかに入っていると、大人になってからのことも考えているんだと伝わると思う。資料3-2の①スポーツ環境の充実が、部活動の地域展開のことで文章を終えているので、どうしてもその年代までが大事にされている印象になる。掲載順を変えた方が、スポーツ環境を大事にすることが伝わるのではないか。また、タイトルに「楽しめる」という言葉が使われており、これがキーワードになるのではないか。スポーツを楽しめるワクワク感をどういう風に考えているかが文面にあると、読む人にスポーツが楽しいということが伝わると思う。

**岸委員:**競技スポーツの推進とあるが、卓球界でも問題になってきている。小さい時から始めた子どもと、中学・高校から始めた子どもでは、技量に差があるため勝負にならず、中学・高校から始めた子どもが楽しくなくなり辞めてしまう。卓球が強くなったのは、小さいころから上を目指す子どもが増えたからではあるが、勝負を目指す人たちと、そうじゃなく楽しむ人たちの為の大会を作ってはということが話題になっている。国スポに向けて、勝たなければいけないということがある中だが、何とかしなければいけない問題である。また、国スポに向けた選手の強化についても、学校数で県大会の出場枠が決められるので、実力があり頑張らせたくても、経験させることが出来ない現状がある。結局、競技者を増やさないと、頑張る子どもたちも機会を得られない。そういったチグハグな面も出ている。

**積田委員:**市民体育館で卓球をしている人がすごくいる。それくらい身近なスポーツであり、何十年経っても出来る。スポーツとは本来そういうものだと思う。スポーツに繋がる道は様々あるので、色々な動きをしていきたい。

**日高委員:**言われるように、卓球場の利用率は最も高く、平日でも予約が困難になっている。社会人になり身体を動かさずとなると個人スポーツが多く、自転車と同じで、何十年やっていなくても出来る。今は勝ち負けでやっていると思うが、卓球やテニスは生涯スポーツ。長い目で見た時に、勝てないから辞めるというのはもったいない。そういう所まで子どもたちに分かってもらえるといい。

#### 4. その他

○事務局より、以下について案内。

・第2回会議については、年度内の開催をする予定。内容は、総合振興計

	<p>画の後期基本、教育ビジョン、国スポに向けた施設整備についてである。 あらためて日程調整をする。</p> <p>5. 閉会</p> <p>以上。</p>
問合せ先	益田市教育委員会ひとづくり推進課 0856-31-0622